



栃木県での養育里親の愛称は「とちのきフォスター」となりました。手のひらの形をした大きな葉を持ち、しっかり根を張り強く大きな木に育つ県木「栃の木」。その「とちのき」と、英語で里親を意味する「フォスター」を組み合わせ、愛情をこめて育てる里親と、その愛情を受け、すくすく育つ子どものイメージを表しています。TFCではこの愛称から機関紙を「とちのき」としました。

令和4(2022)年5月

今年度新たに、栃木フォスタリングセンターに
配属になりました。どうぞよろしくお願ひします。

さて、皆様ご存知のとおり、平成28年の児童福祉法改正により、『こどもが権利の主体』であることや『家庭養育優先原則』が明文化され、新しい社会的養育ビジョンや栃木県社会的養育推進計画が策定されるなど、より家庭に近い里親への委託が推進されているところ です。

里親養育は、出会い、外出・外泊と進み正式に委託となるわけですが、期限のあるマッチング中とは違い、委託後は24時間365日の先の見えない養育が始まります。

里親さんの不安やプレッシャーは計り知れず、委託直後の負担軽減や里親家庭の養育が孤立しないよう、きめ細やかな支援が必要です。

里親委託が推進される中、これからますます養育支援等の充実が求められると思います。

栃木フォスタリングセンター長
湯澤典子



今年の干支は壬寅、『寅は千里を行って千里を戻す』と言われ、一日に千里ほどの遠方まで行くが、子を思いその千里の道を帰ってくることから、子を思う親の強い愛情を示しているそうです。また、中国の漢書で『寅』は、春が来て根や茎が生じて草木が伸び始める状態を指すとも言われています。

当センターは、一連の里親支援業務を担うフォスタリング機関として開設から8か月が経過します。干支にちなみ、『とちのきフォスター』がさらに広がるよう、職員一丸となって関係機関と連携し、こどもの権利保障と重層的な里親支援の実現を目指して参りますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

ホームページが
出来ました



栃木フォスタリングセンターは、ひとりでも多くの子どもたちが、家庭のぬくもりを感じながら望ましい環境で安心して生活できるよう、里親養育に関する包括的な支援を行っています。

栃木フォスタリングセンターのホームページが出来ました。里親制度に関する様々な情報やお知らせ、またセンターの活動や里親、里子の声なども紹介しています。ぜひご覧ください。



HPのQRコード



社会的養護の子どもの 養育について



養徳園のOBに46歳になるK君がいる。K君は5年前より半年ごとに5万円を寄付してくれる。そんな彼はそこまで施設を退所してから一度も顔を見せることはなかった。「何度も園の近くまで来たが、迷惑ばかりかけていた自分は歓迎されないのではないかと考えると施設の門をくぐれなかった」と言う。

先日、知人に施設の送別会の話をしたら「長く育てた子が施設を去るって、さぞ寂しいでしょ。」と言われて、はっとした。そうか、それが親

の感情なんだ。退所の日、私に去来する感情は別れの寂しさよりも「やっとここまで来た」とほっとする気持ちの方が強い。

施設から社会に出ていく子ども達の場合、我々は思春期の難しい時期に向き合うことになり、正解のない養育のプロセスに我々が疲弊してしまうこともよくある。そして施設で強がっていた彼らは、自立することへの不安を隠し続け「迷惑ばかりかけてしまった」とか「やっと自由になれる」といった感情も持ちながら退所の日を迎える。

あるOBから「就労も安定せず、もがき苦しんでいる姿を見せられない」という声を聞いた。どんなに惨めな状態であつてもただ生きていていい。卒園生が気軽に顔を見せてくれる施設でありたいと思う。

里子より



不登校であつた為、児童相談所の方々に介入して貰う事が多かった家庭で、私が、祖母が亡くなり、精神的に耐えられなくなり、加まつた母親からの暴力も加わり、親元に居ては危険であると判断され小さな施設を経由し、私は里子となり

可哀想。そんな偏見が当時はまだあつた狭い地域で、私は母親と祖母と3人で生活をしていた。母親は働きに出ており、家では祖母と2人で過ごしているのが当たり前でしたが中学3年生の夏、祖母が他界しその生活は大きく変化しました。

ました。

当時の心境は冒頭の様な偏見を持っており、恥ずかしさや知らない人への恐怖心がありましたが、今は里親さんのお世話になつて良かったと思つています。衣食住に不安を覚えず生活でき、実親に怯え顔色を伺いつつ生活しなくて良い。人によつてはごく当たり前の事ですが、それを体験できない環境にいた私はそれだけで安心できませんでした。元で生活してはいたが、実親の事が無かつたであろう里親さんや、一緒に生活していた里子の人達。家庭の背景は関係なく個人として接し

てくれる友人。全て里子になつていたからこそ会え、経験し、思えた事です。

ある程度理解が広まってきたとはいえ、まだ実親と暮らせない子は可哀想とか、問題がある腫れ物のような扱いを受ける事があると思ひます。しかしそれは時として間違いであり、当事者にとつては最善で助けになつてくれる事もある。里子であつた身として、「里子」と聞いた人が良い印象を持つてくれるよう、この様な機会に伝えていければと思います。

Ｔさん (25歳)

2月26日、2回目の里親制度説明会をバルティとちぎ男女共同参画センターにて開催いたしました。

福田理事による制度説明の後に、現在2名の子どもを養育中の小林直人さんから、養育の様子、実情や思いなどをビデオの上映をしながらユーモアと愛情あふれるお話しをしていただきました。

参加者は17名でした。



令和4年度は、広く県内の皆さんに里親制度のことを知っていただくため中央・県南・県北地区に分けて各地区での説明会を予定しています。

今年度第1回目は県南地区にて下記の通り開催します。お知らせいたします。

日時：5月28日(土) 13:30～16:00
場所：とちぎ岩下の新生姜ホール
(栃木文化会館)
〒328-0035 栃木市旭町12-16
内容：里親制度説明会・里親体験発表会
・個別相談会

また、今後ファミリーホーム開設を検討している方々への説明会・相談等(資格要件、運営方法等)も開催する予定です。決まり次第ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

養育中の里親さんの時間外電話相談 毎週 水曜日 17:00～20:00

※養育中のお子さんに関する相談に限ります。

080-8082-2298

栃木フォスタリングセンターでは里親さんの語り合いの場である里親カフェや、施設職員及び里親さん等によって構成されたフォスタリング・パートナーが家庭訪問をするなど、里親支援の新しい活動に取り組んでいます。



里親カフェ

昨年10月に栃木フォスタリングセンターが開設し「里親カフェ」を始めました。多くの方が来所して下さり、自慢のコーヒーを飲んでいただきました。

里親になりたい方、委託中の里親さん、未委託の里親さん等、様々な方との出会いがあり土曜の午前中は、笑顔あり、涙あり、おしゃべりの花が咲きました。

皆さんが抱えているもの、そしてその重さはそれぞれ異なります。「里親」というワードが共通する人々が集うこの場所で、話を聞き、何かを感じながら、自分の思いも聞いてもらえる。一杯のコーヒーは、皆さんにとってどんな味になっていたのでしょうか。どの方も、帰る時は笑顔になっていました。

このカフェが、自分の人生、子育てに揺れながらも、少しでも前に進む勇気を持てる場所になれたらと思っています。



児童養護施設桔梗寮
里親支援専門相談員
伊藤幸恵

里親支援専門相談員を拝命し今年で9年目を迎えました。最初は、いったい何をすればいいのかわからないと言いながら、数年たち、ようやくするべき事したい事が見えてきてからは、施設の枠組みではできないことが多いと感じる日々でした。しかし、フォスタリング・パートナーという仕組みができたことで、堂々と里親さんと繋がる事ができると期待しています。

目指すのは継続的な支援。登録前の研修から委託された後までずっと一緒に、一番身近な存在でいたいと思っています。嬉しいことも辛いことも何でもお話ししましょう。少しだけ肩の荷を下ろしたいと思った時は、一緒に一番いい方法を考えましょう。みなさんにお会いするのが楽しみです!

スタッフ紹介



相談員
田代佳子



- ⑤ ひとこと……とちの木の花言葉の中に『博愛』があることを最近知りました。
- ④ 好きな食べ物……粒あん＆コーヒー
- ③ 性格……おうし座 B型、そのまま。
- ② ペット……猫2匹。どちらも美形♡
- ① 前の仕事……子ども大好き保育士です。

☆最後にちよつと自己紹介☆

これから県内各地でカフェを開く予定です。地区を越えて多くの里親さん同士の交流ができればうれしいですね。ぜひ遊びに来てください。また「こんな企画をやりたい」などのご希望もTFCにお寄せください。

里親等支援相談員として4月からTFCの一員となりました。私自身も『とちのきフォスタリング』です。里親の気持ちに寄り添いつつ、ご相談を伺っていただけたいと思います。

栃木フォスタリングセンターは里親養育の包括的な支援を担っています。安心して下さるお話できる居場所になるよう、笑顔忘れず精進していきますので、よろしくお願ひします☆

里親制度の普及、里親養育の理解が深まることで、今よりもっと多くの子どもたちが、家庭の温かさの中で育つことができる機会が増えてくると思います。そして子どもたちの笑顔が溢れるようになったらいいなと思います。私自身も携わっていきこうと思っています。

今年度より、栃木フォスタリングセンターの里親等支援相談員になりました。岩瀬といいます。

子どもたちの未来を守るため、サポーターとして里親さんとも一緒に歩み、とちのきフォスタリングを広めていくことに尽力していきたいと思っています。頼りない部分もあるかと思いますが、子どもたちのために！という熱い想いを胸に前進してきました。



相談員
岩瀬 梢



栃木フォスタリングセンターでは
経理経験のある
事務スタッフを
募集中です!!

028-612-6970

まずはお電話ください。



フォスタリングチェンジ・プログラムを実施しています

フォスタリングチェンジ・プログラムとは、家庭養護の先進的な取り組みがなされている英国において、モーズレー病院の養子縁組・里親支援チームが中心となり始められた里親のためのトレーニングプログラムです。参加人数は10人以下の少人数で行われ、委託されている子どもと、良い関係を作り、問題行動に対応するための様々な具体的な方法をグループでの実践を通して学びます。また、里親自身の自尊心や自信の回復にも配慮しています。

英国におけるプログラム実施後の評価によれば、子どもと里親の関係性、子どもの問題行動、情緒的徴候について大きな改善が見られました。

栃木フォスタリングセンターでは年1回、このプログラムを実施していきます。



今年1月11日、栃木県初のフォスタリングチェンジ・プログラムの初日を迎えた。ファシリテータは5人。昨年ファシリテーター養成講座を終え、この日のためにシミュレーション、話し合いを重ねて臨んだ。

参加者は6名。緊張しながら迎えた初日は和やかな雰囲気の中無事に終了。1回3時間という長い時間が、あっという間に過ぎた。回を重ねるごとに参加者の表情が明るくなり、委託されているお子さんの

変化も聴くことができた。

里子養育をスムーズに進めるうえで大切なのは、社会的養護下の子どもへの理解を深めること。このプログラムでは一般家庭の子どもと社会的養護下の子どもの違いを明確に示し、里親が果たさなければならない役割が分かりやすく示されている。今年も9月から開催を予定している。より良い親子関係を築くために、里親さんに、ぜひ参加してほしい。
(プログラム担当者)

修了生のことは

肯定されることの大切さ (AA)

フォスタリングチェンジ・プログラムに参加させていただきました。イギリスの専門家チームによって開発されたものであるため、どれも効果的で実践に役立つスキルなのはもちろんのこと、研修が終わると、なぜか癒され前向きな気持ちになっているのが驚きでした。

その理由の一つとして考えられるのは、研修の中ではどんな発言をしても決して否定されず、むしろ肯定され、発言を褒めてもらえるため、心地よさや温かさを感じることができたからだと思います。またその体験を通して、子どもも自分の発言や行動を養育者から肯定される事がとても大切なのだと実感することにつながりました。

研修を終えた今、まだ上手いかないこともありますが、身についたスキルがあることで、以前より気持ちが楽になったことを実感しています。

今年度は9月スタート!

お問い合わせは栃木フォスタリングセンターまで



TFC

栃木フォスタリングセンター
TOCHIGI FOSTERING CENTER

〒320-0065
栃木県宇都宮市駒生町1837-3
tel:028-612-6970
fax:028-612-6971
email:tfc2021@circus.ocn.ne.jp

開所時間:9:00~17:00
定休日:日曜日、月曜日、祝日、年末年始

フォスタリングチェンジ

プログラムを修了して (EM)

プログラムは約3ヵ月間、12回、毎回違ったテーマで講義を受けるという形ではなく、養育経験豊かな5人のファシリテーターの方々のサポート、アドバイスを受け、課題にグループワークやロールプレイを行いながら進められました。

ロールプレイでは、親役や子供役になり、子供の気持ちになってみると、楽しい学びでした。学んだ事は家庭で実践します。そして、その経過を振り返り、ファシリテーターの方々がアドバイスして下さいます。また、同じ里親さん方々にも励まされ助けられました。

家庭での実践では思った通りには、なかなか行きませんが、プログラムが進み、自分の知識が増えると共に子供の笑顔が増えていきました。

なによりも里親として、子供の問題行動として表れる子供のニーズに気づき、考え、対応できる知識を学べた事が私自身、とても嬉しいです。

この気持ちに名前を付けるなら、里親としてパワーアップしたハッピーな気持ちです。ありがとうございました。

県北児童相談所でもペアレント・プログラムを実施します。

(県北の里親さん限定)

参加者募集中
里親対象
ペアレント・プログラム
令和4年11月スタート

お問い合わせは

0287-36-1058

聞いてみよう! みよう! 実践しよう!